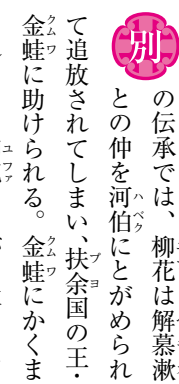




## 初代高句麗王の母は 水の神様の娘

**水**の神である河伯の娘とい  
う。柳花をめぐっては、面  
白いエピソードがいくつも伝わっ  
ている。伝承のひとつによれば、  
天界から降臨した解慕漱が川のほ  
とりで水遊びをしていた柳花を見  
初め、二人は愛し合うようになっ  
たのだが、父親の河伯はこれに反  
対した。河伯が「お前が本当に天  
帝の子なら、その証拠を見せろ」  
と言うので、解慕漱は変身合戦を  
行った。河伯が鱧に変身すると、  
解慕漱は川瀬になってこれをつら  
え、河伯が鹿になると狼に、雉  
に変身すると鷹になって追いかけ  
た。解慕漱が天帝の子に間違いな  
いと認めた河伯は、とうとう柳花  
との結婚を認めた。

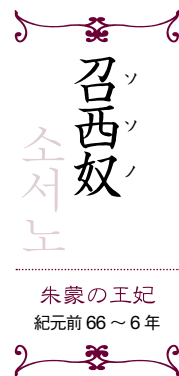


**別**の伝承では、柳花は解慕漱  
との仲を河伯にとがめられ  
て追放されてしまい、扶余国の王・  
金蛙に助けられる。金蛙にかくま  
われていた柳花はやがて大きな卵  
を生み落とした。金蛙はその卵を  
気味悪がって豚小屋に捨てさせる  
が、豚は卵を傷つけないように近  
づかなかった。野原に捨てると、  
今度は鳥たちが卵を守った。最後  
に金蛙は自分の手で卵をつぶそう  
とするが、とても硬くて傷つける  
ことができなかった。金蛙もとう  
とうあきらめ、卵の中から朱蒙が  
生まれたという。



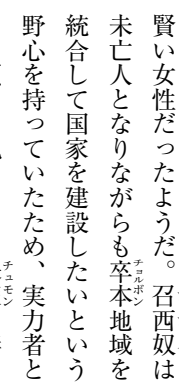
柳花 (『朱蒙』)。

**テ**レビドラマ『朱蒙』では、  
漢軍との戦いで傷ついた解  
慕漱を助け、後に金蛙の側室と  
なっても解慕漱を想い続ける一途  
な女性として描かれている。



## 高句麗建国とあわせ 百済建国でも重要人物

**小**国の連合体である卒本を率  
いていた延陀勃の娘。朱蒙  
の実父・解慕漱の血を引く優台と  
いう人のもとに嫁いでおり、夫と  
の間には沸流と温祚という二人の  
息子が生まれていた。優台が亡く  
なると、高句麗を建国した朱蒙は  
卒本で未亡人となり一人で暮らし  
ていた召西奴を呼び寄せて王妃に  
した。朱蒙は召西奴を愛していた  
ので、義理の息子となった二人に  
も実子と変わらぬ愛情を注いだと  
いう。二人のうち温祚は、後に高  
句麗のライバルとなる百済を建国  
することになる (P44参照)。  
**テ**レビドラマ『朱蒙』でその  
ように描かれているよう  
に、実際の召西奴も行動力のある



賢い女性だったようだ。召西奴は  
未亡人となりながらも卒本地域を  
統合して国家を建設したいという  
野心を持っていたため、実力者と  
して頭角を現していた朱蒙の妻に  
なったのだという。朝鮮半島最古  
の歴史書『三国史記』にも、「朱  
蒙が高句麗を建国して王になれた  
のは、王妃の召西奴による内助の  
功が大きい」と書かれている。劇  
中では、朱蒙と相思相愛の関係に  
なりながら彼のライバルである帶  
素からも求愛されるが、これはド  
ラマの中だけのエピソードである  
(P28参照)。



召西奴 (『朱蒙』)。

**百**済の偉大な王・近肖近王 (P  
48参照) を主人公にしたド  
ラマ『百済の王クンチョゴワン』  
にも、百済の建国神話の場面で召  
西奴が登場している。